



Hiromi Kanemaru

金丸弘美

1952年佐賀県唐津市生まれ。食環境ジャーナリスト、食総合プロデューサー。全国の食からの地域再生や食育、食のワークショップなどをテーマにした各地の新しい取り組みを運動と実践と出版を通じて広く伝えている。著書に『田舎力——ヒト・夢・カネが集まる5つの法則』（NHK出版生活人新書）、『幸福な田舎のつくりかた：地域の誇りが人をつなぎ、小さな経済を動かす』（学芸出版）、『実践！ 田舎力

里山産業論

「食の戦略」が六次産業を超える

金丸弘美

里山産業論

「食の戦略」が六次産業を超える

金丸弘美

角川新書

K-00



9784041106334



1920295008002

ISBN978-4-04-110633-4

C0295 ¥800E

定価：本体800円(税別)

KADOKAWA

本書の内容

「食の戦略」で人も地域も社会も豊かになる！ 地域のブランディングを成立させ、お金も地元へと落とせるのは補助金でも工場でもなく、その地の“食文化”である。それこそが人材を育成し、雇用も生みだしていくのだ。「食の戦略」で育まれた人は、都市にとっても創造的な人物として得難い存在となる。ロングセラー『田舎力』の著者が放つ、新産業論。



社会を変える最重要産業。それはメシ！

ロングセラー『田舎力』の著者による、希望とやる気が湧く最新レポート！

定価：本体800円(税別)

角川新書

世界の田舎が、 “産業”を興している。

味覚を育むことは、
間違いなく、
豊かで個性的な子どもたちを
育てることになる。
その人たちが、
社会を変えていくのだ。

○世界遺産と街並みと集落と食を連携させ、
人を呼び込むイタリア

○「味覚の講座」で子どもの表現力・郷土愛を育み、
輸出力を強化するフランス

○一軒ではなく、地域全体の六次産業化をする
日本の山間地 etc

「食の戦略」が次代の人材を育て、 経済を回し、地域を創っている!!

※「食の戦略」……地元の食材、料理で人の味覚を鍛え、
地元の食文化をテキスト化して継承と伝達を効率化する。
そして、個人の味覚と積み重ねた食文化を基点に町作りを行うこと。

ローカルこそ人を育てられる！

- ◆スローフードとはNPOのことである
- ◆生協の産直運動がフランスのモデルとなった
- ◆国がバックアップするフランスの「味覚の週間」
- ◆豊かな言葉で地元の食材を語る人を育てる
- ◆子供の健康に投資することは、
地域の未来を創ること